

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																				
東海医療学園専門学校	平成7年8月3日	杉山 誠一	〒413-0006 静岡県熱海市桃山町20番7号 (電話) 0557-82-0459																				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																				
学校法人東海医療学園	平成13年3月27日	杉山 誠一	〒413-0006 静岡県熱海市桃山町20番7号 (電話) 0557-82-0459																				
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																			
医療	医療専門課程	鍼灸マッサージ科	平成10年文部科学省 告示第179号	—————																			
学科の目的	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師として必須の知識・技術を授け、豊かな人間性を育み、広く社会に貢献できる人材を育成する。																						
認定年月日	平成26年 3月 31日																						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時 数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																
3	昼間	2,850時間	2,040時間		180時間		630時間																
単位時間																							
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																		
120人	98	0人	9人	11人	19人																		
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 筆記試験、レポート、実技試験により単位認定を行う																		
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:8月1日～9月20日で学校長の定めた期間 ■冬季:12月20日～1月10日で学校長の定めた期間 ■学年末:3月15日～4月5日で学校長の定めた期間			卒業・進級 条件	進級:各学年において履修すべき授業料目の単位を修得した者 卒業:全ての単位を修得し、卒業試験に合格した者																		
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任を軸に学生本人、保護者、保証人との連絡、面談を行い、改善が見られた場合は補講などにより学力の向上を図っている。			課外活動	■課外活動の種類 地域のスポーツ大会等へのボランティア、学園祭実行委員会、市町スポーツ大会等への出場、など ■サークル活動: 有																		
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(令和1年度卒業生) 治療院、病院、スポーツ施設、美容施設、在宅訪問医療分野、福祉施設、など ■就職指導内容 担当者による個別指導(履歴書の書き方、電話アポイント方法など)、事業所等を招聘しての就職ガイダンス開催、企業セミナーなど ■卒業生数 18 人 ■就職希望者数 14 人 ■就職者数 14 人 ■就職率 : 100.0% % ■卒業者に占める就職者の割合 : 77.8% % ■その他 ・進学者数: 2人 ・開業(自営): 0人 令和 2 年度卒業者に 令和3年5月1日 時点の情報			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業者に関する令和3年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あん摩マッサージ指圧師</td> <td>②</td> <td>16人</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>はり師</td> <td>②</td> <td>16人</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>きゅう師</td> <td>②</td> <td>16人</td> <td>15人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	あん摩マッサージ指圧師	②	16人	16人	はり師	②	16人	14人	きゅう師	②	16人	15人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																				
あん摩マッサージ指圧師	②	16人	16人																				
はり師	②	16人	14人																				
きゅう師	②	16人	15人																				
中途退学 の現状	■中途退学者 7名 ■中退率 7.9 % 令和2年4月1日時点において、在学者88名(令和2年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者81名(令和3年3月31日卒業者をを含む) ■中途退学の主な理由 進路変更、学業不振など ■中退防止・中退者支援のための取組 ミスマッチを防ぐため、授業を通じてこの事のやりがいや楽しさ、資格取得への意欲を高めるよう努めている。また、継続的な面談により、学生の問題を早期に把握するよう努めている。																						
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ・校友会奨学金制度 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象 給付実績者:19名 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																						
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																						
当該学科の ホームページ URL	http://www.tokaicom.ac.jp																						
(留意事項)																							

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師として必要な知識・臨床能力を修得させ、更に施術者としての人間性(社会常識、良好なコミュニケーション能力、患者中心の医療を実践する態度、社会貢献に努める態度など)を身につけることを目的とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
教育課程編成委員会での意見や要望は、学校長、専任教員構成による教育会議にて検討及び決定をされる。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿 令和3年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
齊藤恭二郎	(公財)静岡県鍼灸マッサージ師会 理事長	2020年4月1日～2022年3月31日	①
中村 聡	(公財)静岡県鍼灸師会 会長	2020年4月1日～2022年3月31日	①
川崎 英正	エムエスマイスター 代表	2020年4月1日～2022年3月31日	③
澤登 拓	株式会社フレアス 代表取締役社長	2020年4月1日～2022年3月31日	③
矢田 真樹	三島大蔵鍼灸院 院長	2020年4月1日～2022年3月31日	③
山田 英史	東海医療学園講師(はりきゅう治療Oriental Medicine Treatment Room Yamada 院長)	2020年4月1日～2022年3月31日	
朝日山一男	東海医療学園講師(朝日山治療室院長)	2020年4月1日～2022年3月31日	
木村 博吉	教務課長(学校責任者)		
杉山 誠一	学校長		

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
年2回開催、開催時期7月、11月
(開催日時)
第1回 令和2年 7月21日 16:00～17:30
第2回 令和2年11月10日 16:00～17:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
令和2年度で全学年が平成30年度に改正された新カリキュラムとなった。今回の改正では、業団等からも医学知識、技術の更なる向上に加え、コミュニケーション力、施術者としてのマナー教育を重視するなどの要望があり、本校においても資質向上のため臨床実習など実技実習の内容の強化している。また、実技復習の教材として本校教員による動画教材の作成にも取り組むこととしている。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
学校で習得した知識・技術を礎に、更に実践できる能力を高めること、並びに職業人としての態度・習慣を身につけることを目的とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容
・習得した知識・技術を礎に、更に実践できる能力の向上、職業人としての態度、習慣を身につけることを目的に、企業、職能団体等の専門家を招聘し、校内での実習、演習を行う。評価方法については、試験、レポート、授業態度等総合的に行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
地域保健医療論	地域医療保健に貢献することのできる施術者になるため、在宅ケアにおいて適切な施術を提供できる知識・技術・態度を身につける	朝日山治療室
東洋医学臨床論Ⅱ	臨床で遭遇すると思われる主な症候に対し、現代医学的な考え方に基づいて、適切な施術ができるための知識を習得する。	
鍼灸理論	鍼灸施術の意義および治療効果について理解し、鍼灸施術を効果的に行なう能力と態度を身につける。	はりきゅう治療 Oriental Medicine Treatment Room Yamada
臨床病態論	施術者として必要な診察法や検査法の知識を踏まえた上で、その症候に対する施術の適否を判断する能力を身につける。	

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

就業規則において、「学園は職員に対し、必要な知識・技能の向上を図るため、医療機関、業団体、企業等、学外において研修を受けさせることがある」と規定しており、実践的な職業教育を行う上で必要な実務卓越性並びに指導力の向上を図ることを目的として、企業等との連携に基づいた研修、研究を行うこととしている。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

コロナウイルス感染症の拡大により、例年参加している業団体等による勉強会、研修会は殆どが中止となったため、当初の計画通りの参加は出来なかった。その中においてもオンラインによる勉強会などへは積極的に参加するよう心掛けた。

② 指導力の修得・向上のための研修等

コロナウイルス感染症拡大により、例年参加している業団体等による研修会や学生発表等を目的とした大会も殆どが中止となった。ただ、3月には外部講師を招聘しての勉強会は開催することができた。

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

令和3年度もコロナウイルス感染症の影響は大きいですが、昨年と比較してオンライン等での研修会の開催は増えてきている。専攻分野における実務に関する知識等を修得・向上するため、オンラインではあるが業団体や全日本鍼灸学会主催の学術研修会への参加、医学系大学と連携しての解剖見学実習等への参加を計画している。ただし、状況によっては変更になる可能性もある

② 指導力の修得・向上のための研修等

生徒に対する指導力等を修得・向上するための研修として、教授法、指導法等の向上を目的に実施された東洋療法学校協会教員研修会がオンラインにより開催される予定であるため、に参加する。また、高校教員を講師に招いて「学力低下の学生への対応」についての講座などを計画し、近年の学生対応強化に努める。また、静岡県職業教育振興会での教職員研修に参加し、教育職員としての資質向上に努める。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

教育水準の向上を図り、東海医療学園専門学校の目的及び社会的使命を達成するため、教育活動、学校運営等の状況について、学校評価委員による評価結果を基に学校関係者評価を実施する。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念・方針の周知、教育目標の設定
(2) 学校運営	諸会議の実施、危機管理体制、防災対策
(3) 教育活動	わかりやすい授業への取組、技能教育の充実向上、資格試験合格率の向上
(4) 学修成果	適切な成績評価、卒後教育の実施、学習モチベーション向上
(5) 学生支援	生活習慣に関する指導、進路相談・指導の充実、健康管理、生活支援相談の充実
(6) 教育環境	適正な教員配置、施設・設備の充実、教材・教具等の充実
(7) 学生の受入れ募集	広報活動
(8) 財務	予算編成及び執行、財務状況の分析
(9) 法令等の遵守	労務管理、情報公開
(10) 社会貢献・地域貢献	地域スポーツへの貢献、介護予防に関する取組
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学生の受入れ状況が以前より順調ではないという内容について、あん摩マッサージ指圧師の国家資格取得養成校は比較的少ないので、特長として打ち出してはどうかという意見が挙げられた。これに対し、カリキュラムの見直しを考え、手技の授業を増設する方向で着手している。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
矢田 真樹	静岡県鍼灸学術研究会 会長	2020年4月1日～2022年3月31日	学識関係者
中村 聡	公益社団法人静岡県鍼灸師会 名誉会長	2020年4月1日～2022年3月31日	業団体
齊藤恭二郎	公益社団法人静岡県鍼灸マッサージ師会 理事長	2020年4月1日～2022年3月31日	業団体
井出 啓之	熱海市連合町内会 会長	2020年4月1日～2022年3月31日	教育関係者
澁谷 哲平	東海医療学園専門学校校友会 副会長	2020年4月1日～2022年3月31日	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他()) 毎年5月中旬に公表

URL: <http://www.tokaicom.ac.jp>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業、職能団体等との連携を図るため、学校の教育活動・運営状況等について十分理解してもらうことを目的として積極的な情報提供を行う。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	建学の精神と教育理念、設置学科、年間行事
(2) 各学科等の教育	カリキュラム、教科概要
(3) 教職員	教員紹介
(4) キャリア教育・実践的職業教育	ゼミナール、卒後教育研修コース
(5) 様々な教育活動・教育環境	施設紹介、総合臨床センター紹介、アスレティックトレーナー専攻コース
(6) 学生の生活支援	学生サポート、進路と国家試験
(7) 学生納付金・修学支援	奨学金について、学生納付金
(8) 学校の財務	学校評価報告書と情報公開
(9) 学校評価	学校評価報告書と情報公開
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページにて公開 URL: <http://www.tokaicom.ac.jp>